

令和4年度行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	アジア高校生架け橋プロジェクト+			担当部局庁	総合教育政策局	作成責任者				
事業開始年度	令和5年度	事業終了(予定)年度	令和9年度	担当課室	国際教育課	国際教育課長 石田 善顕				
会計区分	一般会計									
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-			関係する計画、通知等	「第3期教育振興基本計画」平成30年6月15日閣議決定					
主要政策・施策	子ども・若者育成支援			主要経費	文教及び科学振興					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	グローバル化が加速する社会経済において、グローバル人材を継続的に育成していくことは重要である。このため、平成30年度から令和4年度に実施してきたアジア高校生架け橋プロジェクトの成果を生かし、アジア諸国で日本語を学ぶ優秀な高校生を日本全国の高校に招聘し、日本人高校生との国際交流を深めるプロジェクトを実施するとともに、本プロジェクトにおいて招聘した留学生と日本人高校生が交流する「国際交流キャンプ」を開催し、国際的に活躍できる人材育成を推進する。									
事業概要 (5行程度以内。別添可)	アジア諸国を中心に日本語を学ぶ優秀な高校生を日本全国の高校に招聘する。日本各地でホームステイや寮生活をしながら、日本の高校生と共に学び合い、国際交流を深める。また、招聘した優秀な留学生と日本人高校生とが国際社会での現実に即した英語交渉などを通じて交流する「国際交流キャンプ」を開催し、より効果的に国際交流体験を推進する。(補助率10/10) これにより、日本の高校生の留学意欲や国際的素養が向上するとともに、当該事業の国際交流を通して、日本とアジアの高校間ネットワークの構築や、互いの国に精通したリーダー、架け橋となる人材を育成することを目指す。									
実施方法	補助									
予算額・執行額 (単位:百万円)			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度要求			
	予算 の 状 況	当初予算	-	-	-	-	195			
		補正予算	-	-	-	-	0			
		前年度から繰越し	-	-	-	-				
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-				
		予備費等	-	-	-	-				
	計		0	0	0	0	195			
	執行額		-	-	-	-				
	執行率(%)		-	-	-	-				
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!				
令和4・5年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	令和4年度当初予算	令和5年度要求	主な増減理由						
	国際文化交流促進費補助金	-	194.6	※金額は単位未満四捨五入して記載していることから、合計が一致しない場合がある。						
	職員旅費	-	0.3	要求額のうち「重要政策推進枠」:195百万円						
	委員等旅費	-	0.1							
	諸謝金	-	0.1							
計		-	195							
活動内容 (アクティビティ)	アジア諸国を中心に日本語を学ぶ優秀な高校生を日本全国の高校に招聘する事業を民間団体を通じて実施する。									
活動目標及び 活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度 活動見込	5年度 活動見込	
	アジア諸国を中心に日本語を学ぶ優秀な高校生を日本全国の高校に招聘する。	当該事業により日本に招聘した高校生数	活動実績	人	-	-	-	-	-	
			当初見込み	人	-	-	-	-	50	
単位当たり コスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込		
	補助額/留学生徒数			単位当たりコスト	円	-	-	-	-	
				計算式	円/人	-	-	-	-	

成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 年度	目標最終年度 9年度
	日本人高校生の海外留学生数を6万人にする(高校:3万人から6万人) ※第4期教育振興基本計画の目標に合わせる	日本の海外留学生数(本事業で招聘した留学生との交流による日本の高校生の留学意欲の向上を想定) ※隔年調査のため、調査のない年の成果実績は一とする。		成果実績	人	-	-	-
		目標値	人	-	-	-	-	60,000
		達成度	%	-	-	-	-	-
根拠として用いた統計・データ名(出典)	文部科学省調査「高等学校等における国際交流等の状況について」							
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 年度	目標最終年度 9年度
	将来留学したいと思う高校生を増加させる	将来留学したいと思う高校生の割合(本事業で招聘した留学生との交流による日本の高校生の留学意欲の向上を想定) ※隔年調査のため、調査のない年の成果実績は一とする。		成果実績	%	-	-	-
		目標値	%	-	-	-	-	60
		達成度	%	-	-	-	-	-
根拠として用いた統計・データ名(出典)	文部科学省調査「高等学校等における国際交流等の状況について」							
政策評価、 新経済・財政再生計画との関係	政策	13 豊かな国際社会の構築に資する国際交流・協力の推進						
	政策評価	政策評価書 URL	https://www.mext.go.jp/content/20220228-mxt_kanseisk02-000019646.pdf					
	施策	13-1 国際交流の推進	該当箇所	P4~5				
	新経済・財政再生計画改革工程表 2021 取組事項	分野:	-	-				
		(新経済・財政再生計画改革工程表 2021) URL:	-					
		該当箇所	-					
事業所管部局による点検・改善								
国費投入の必要性	項目			評価	評価に関する説明			
	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。			○	本事業は、我が国とアジア諸国等との相互理解、友好親善に資するものであり、グローバル人材の育成に効果がある。			
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。			○	本事業は、「第3期教育振興基本計画(平成30年6月15日閣議決定)」等において、グローバル人材の育成の必要性等について提言されている中で、アジア諸国を中心とした優秀な高校生を招聘し国際交流を推進する事業である。留学生の選考に当たっては外務省を通じて各国所在の日本大使館にも協力を依頼することを予定しており、民間に委ねることは困難である。			
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。			○	「第3期教育振興基本計画(平成30年6月15日閣議決定)」等において、グローバル人材の育成の必要性等について提言されている中で、本事業は海外の優秀な高校生を招聘し国際交流を推進するものであり、優先度は高いものと考えられる。			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。			○				
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。			無	事業を実施する補助事業者は、公募するとともに、外部有識者により構成される審査会を経て選定する予定となっており、妥当性は十分確保される見込みである。			
	競争性のない随意契約となったものはないか。			無				
	受益者との負担関係は妥当であるか。			○	補助対象経費は申請段階で精査の上で支出し、補助対象外経費の支出は民間団体から支出する予定である。			
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。			○	費目・用途の精査を行った上で交付決定を行い、単位当たりコスト等の水準の妥当性を確保する。			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。			-				
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			○	交付決定時及び額の確定手続きにおいて、費目・用途の内容を精査し、支出の合理性・必要性について適切にチェックする。			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)			-				
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)			-					
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。			-					

事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	事業年度ごとに実績報告書等において、成果実績が成果目標に見合ったものとなっているか確認する。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	補助事業者の選定に当たっては、公募を実施し、最も効果的・効率的に実施できる事業者を選定する。
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	活動実績が見込みに見合ったものとなるよう、事業の効果的・効率的な実施に努める。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-	-
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	
	事業番号	事業名	
点検・改善結果	点検結果	本事業は、これまで実施した事業についてアジア諸国からの評価が高かったことを踏まえ、引き続き、その成果を生かし、国の事業として日本で学びたいと考えているアジアを中心とした優秀な高校生を受け入れ、国際交流を進めるものであり、グローバル人材の育成にあたり必要となる事業である。	
	改善の方向性	効率的かつ適正な予算執行に努める。	
外部有識者の所見			
外部有識者による点検対象外			
行政事業レビュー推進チームの所見			
事業目的の達成に向け、効率的な予算執行を図り、費用対効果の向上等に努めること			
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況			
-			
備考			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成23年度			
平成24年度			
平成25年度			
平成26年度			
平成27年度			
平成28年度			
平成29年度			
平成30年度			
令和元年度			
令和2年度			
令和3年度			

